

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和元年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)  
年間(4月～3月)

施設名	秋川溪谷 戸倉体験研修センター	指定管理者	新四季創造株式会社
指定期間	平成30年4月1日から 令和5年3月31日まで	担当課	観光まちづくり推進課

## 1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	313	163	52.1%	
	延べ利用者数 (人)	15,850	15,492	97.7%	
	事業開催 回数	必須事業 (回)	60	58	96.7%
		自主事業 (回)	55	25	45.5%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	21,990,000	10,995,000	50.0%
		利用料金収入(売上) (円)	11,406,667	7,713,600	67.6%
		自主事業(体験飲食等)収入 (円)	10,750,321	7,163,020	66.6%
		その他の収入 (円)	0	134,156	-%
	収入計 (円)		44,146,988	26,005,776	58.9%
	支出	人件費 (円)	20,980,000	11,263,183	53.7%
		維持管理経費 (円)	17,175,300	6,698,714	39.0%
		自主事業関係経費 (円)	人件費に含む		-%
		その他の支出 (円)	3,900,000	2,800,149	71.8%
	支出計 (円)		42,055,300	20,762,046	49.4%
	収支(収入-支出) (円)		2,091,688	5,243,730	250.7%
	諸経費(本社運営費など)		-	-	-%
総収支 (円)		2,091,688	5,243,730	250.7%	

### 指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p><b>【開館日数・利用者数について】</b> 開館日数：163日 利用者数：10,135人 (研修室利用者数：2,598人) (見学等利用者数：2,759人) 延べ利用者数：15,492人</p>	<p><b>【事業の実施状況について】</b> 本年も研修及び合宿の利用者に対しての体験事業を組み込み、地域との交流を図った農業体験や座禅などを行い、利用者数が増加した。宿泊者は、着実にリピーターが増加し、次季の予約にも繋がった。また、宿泊者向けのランチメニューの商品を多くし、好評を得た。</p>	<p><b>【収支状況について】</b> 季節毎の利用者数を試算し、計画的な地域雇用と弾力性のある人員管理に努めた。また、消耗品の支出を細かくチェックし、冬季にかかる暖房燃料などへ予算を移行できるよう余力を残し、経費計画を実行した。</p>
---	---	--

### 所管課の評価 (指摘事項)

<p><b>【開館日数・利用者数について】</b> 過去の実績を基に年間計画を立て、開館できている。前年度に利用した団体のリピーターも多く、利用者数は十分に確保されている。</p>	<p><b>【事業の実施状況について】</b> 体験事業については、地元の協力も得られ、受入体制が充実している。また、飲食事業では、宿泊者用の新メニューを取入れるなど、利用者への配慮ができている。</p>	<p><b>【収支状況について】</b> 収入については、各事業において利用料金を確保できている。支出については、繁忙期における計画的な雇用により、人件費の抑制に努めている。また、維持管理経費を必要最小限に抑えるなど、収支状況は良好である。</p>
--	--	--

## 2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	13～15人 人員配置計画、実地、出勤簿	13人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年 研修マニュアル	実施回数2回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	40% 人員配置計画	40% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報保護のための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

### 3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>第1四半期（4月から6月まで）については、昨年度も実施された企業団体による連泊型の研修として、各研修室での座学や体育館でのレクリエーションなど、幅広く活用された。</p> <p>また、第2四半期（7月から9月まで）では、開業以来のリピーターである団体の利用が着実に増え、固定顧客として、来年の予約をいただいている。滞在中は、当センターの体験事業もスケジュール予定に組み込み、戸倉地域の生産者と交流しながらの農業体験、早朝の座禅体験などは、例年どおりに好評を得た。これについては、スタッフの意識として、柔軟かつ円滑な対応をすることで、来館された利用者にリピートに対しての安心感を与えられていると感じている。これまで数回、宿泊された団体については、夕食のレギュラーメニューの変更、豆腐や根菜類のみを使用したヘルシーメニューの提供など、幅広い要望に応え、次期の予約を確実にいただけるよう、柔軟な対応にこころがけた。</p> <p>なお、地域との連携については、戸倉の自治会等団体が連携した「自主防災訓練」に参加し、AED使用訓練や無線訓練、炊き出し訓練など、スタッフと相互に協力し、地域貢献に努めた。</p>
所管課による所見（指摘事項など）
<p>前年度に利用した団体のリピート率が良いことや、口コミ、インターネット等の情報発信などにより、新規の団体も獲得し、上半期の利用者は前年同期より増加している。施設スタッフ一同で体験メニューや飲食メニューを調査・研究し、利用者を飽きさせない努力も行っている。また、地元自治会等が実施する防災訓練に協力するなど、地域と良好な関係が築けている。下半期についても、地域住民や店舗と連携しながら地域の魅力を発信するとともに、企業等の研修を実施する場所として最適な環境であることを積極的にPRし、地域活性化が図れることを期待する。</p>